

日常のお手入れマニュアル

Acuity LED 1600II Acuity LED 1600R

お願い

インクジェットプリンタは非常に微細なメカニズムを持つ精密な機械です。特に、インクを吐出するヘッドのノズル面にホコリや紙粉がわずかでも付着していると、吐出に影響を及ぼし、正常な作図結果が得られないことがあります。インクジェットプリンタの性能を維持しながら、末永くお使いいただくためには、定期的なお手入れが必要になります。

目次

安全にお使いいただくために	4
使用環境について	4
安全上のご注意	4
定期的なお手入れ	5
お手入れ内容とその時期	5
毎日のお手入れ	6
ノズル面周囲の清掃	6
ホワイトインクの攪拌	8
ワイパの清掃	10
メディア押さえの清掃	11
プラテンの清掃	12
外装の清掃	12
毎週のお手入れ	13
ノズル面の清掃	13
ピンチローラの清掃	15
紙幅センサの清掃	15
廃インクの処理	16
廃インク処分の目安	16
廃インクの回収	17
保管方法について	18
インクおよび洗浄液の保管	18
メディアの保管	18
インクカートリッジの保管	18

安全にお使いいただくために

使用環境について

- ・できるだけホコリの少ない環境で使用してください。扇風機、送風機なども周囲のホコリを舞い立たせる原因になります。
- ・紫外線硬化インク（以降、インク）を使用するため、換気のよい場所に設置してご使用ください。
- ・使用環境温度は +15 °C ~ +30 °C です。これより低温 / 高温でのご使用は避けてください。
- ・使用環境湿度は 30% ~ 60% Rh です。これより低湿 / 高湿でのご使用は避けてください。

安全上のご注意



- ・本機は、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。



- ・本機の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損の原因になります。



- ・ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。
- ・本機の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障する恐れがあります。
- ・インクは、水やアルコールと混ざると凝集物が発生します。ノズル面はもちろん、ヘッド周辺には、水またはアルコールを付着させないようにご注意ください。









- ・本機はインクを使用します。お手入れの際には必ず付属の保護メガネと保護手袋を着用してください。

定期的なお手入れ




お手入れ内容とその時期

本書では、本機で必要になる定期的なお手入れのうち、毎日および毎週行うお手入れについて説明します。それ以外のお手入れについては、取扱説明書の第4章「定期的メンテナンス」を参照してください。

●毎日のお手入れ

- ・ノズル面周囲の清掃  P6 参照
- ・ホワイトインクの攪拌  P8 参照
- ・ワイパの清掃  P10 参照
- ・メディア押さえの清掃  P11 参照
- ・プラテンの清掃  P12 参照
- ・外装の清掃  P12 参照

●毎週のお手入れ

- ・ノズル面の清掃  P13 参照
- ・ピンチローラの清掃  P15 参照
- ・紙幅センサの清掃  P15 参照

<お手入れに必要なもの>

お手入れの際は、必ず以下の専用の清掃用具をご使用ください。指定以外のものを使用すると、ヘッドの損傷などの故障の原因になります。

- ・クロス：クロス 300 枚入り (FMP002)
- ・清掃棒：フレキシブルスワブ 100 本入り (FMP001)
- ・メラミン清掃棒：メラミン棒 50 本入り (10mm X148mm X 8mm) (A9EA928AG-122)
- ・洗浄液：QV017 UV FLUSHING SOLUTION 1 ℓ

清掃用具をお求めの際は、販売店または弊社営業所までお問い合わせください。

毎日のお手入れ

ノズル面周囲の清掃

キャリッジ下面には、印刷中のミストやワイパ拭き取り時の拭き残しなどでインク滴が発生することがあります。インク滴が垂れるとメディアが汚れたり、かすれや抜けの原因になりますので、毎日の作業の前に清掃してください。



- ・清掃するときは、必ず付属の保護メガネと保護手袋を着用してください。インクが目に入る恐れがあります。

清掃に必要なもの

・ クロス

・ 保護手袋

・ 保護メガネ

1 電源を入れる

- ・ 初期動作後、<ローカル>が表示されます。

2 <ローカル>表示のとき、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
メディア セッテイ <ENT>

3 キーを押して、[メンテナンス] を選ぶ

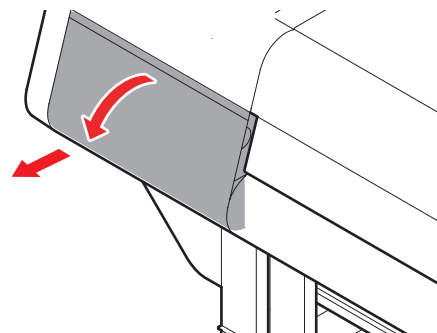
FUNCTION
メンテナンス <ENT>

4 **ENTER** キーを 3 回押す

- ・ キャリッジが移動します。

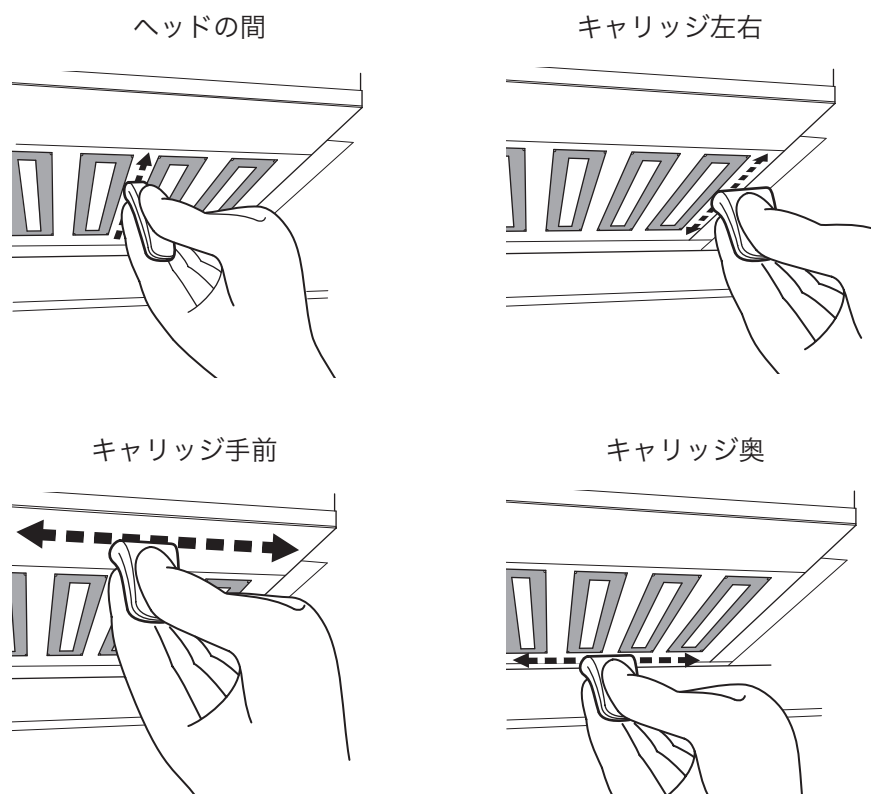
ステーション メンテ
メンテ：キャリッジ アウト

5 本体左側のメンテナンスカバーを外す



6 専用のクロスでノズルの周囲を清掃する

- ・ヘッドの間、キャリッジの左右、キャリッジの手前、およびキャリッジの奥を清掃してください。



重要!

- ・清掃するときは、ノズル面に触れないでください。ノズルを損傷する恐れがあります。ノズル面のお手入れの詳細については、P13「ノズル面の清掃」を参照してください。
- ・必ず専用のクロスを使用してください*。指定以外のクロスは絶対に使用しないでください。ノズルを損傷する恐れがあります。

*専用のクロスについては、販売店または弊社営業所までお問い合わせください。

7 清掃が終了したら、メンテナンスカバーを戻し、**ENTER** キーを押す

ステーション	メンテ	
シュウリョウ		: ent

8 **END** キーを数回押して、<ローカル>表示に戻す

ホワイトインクの攪拌

ホワイトインクには比重の大きい顔料成分が含まれているため、インクバッグ内で顔料が沈殿することがあります。顔料が沈殿すると、濃度変動やノズル詰まりの原因になります。ホワイトインクの状態を良好に保つために、毎日の作業の前にはインクを攪拌してください。



・攪拌するときは、必ず付属の保護メガネおよび保護手袋を着用してください。インクが目に入る恐れがあります。

攪拌に必要なもの	・ 保護手袋	・ 保護メガネ
----------	--------	---------

1 プリンターが稼働していないことを確認する

2 **END** キーを数回押して、<ローカル>表示にする

<ローカル>

ハバ:1234mm

3 インクステーションから、ホワイトインクのカートリッジを引き抜く

重要! ・ローカルの両側に*印が表示されているときは、インク IC チップへのアクセス中であることを示しています。暫く待って<>表示が変わってから引き抜いてください。

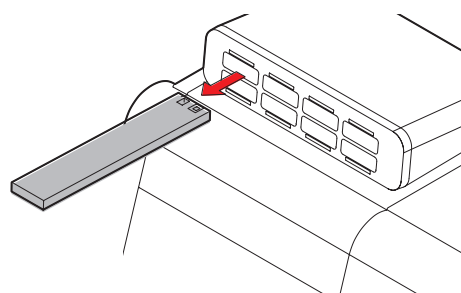
* ローカル *

ハバ:1234mm

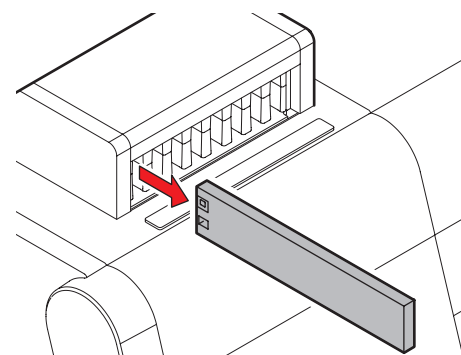


<ローカル>

ハバ:1234mm



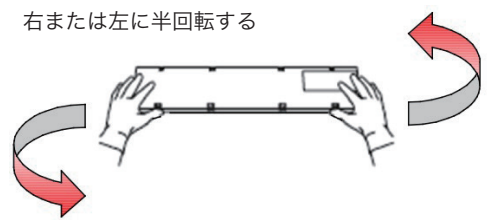
Acuity LED 1600II



Acuity LED 1600R

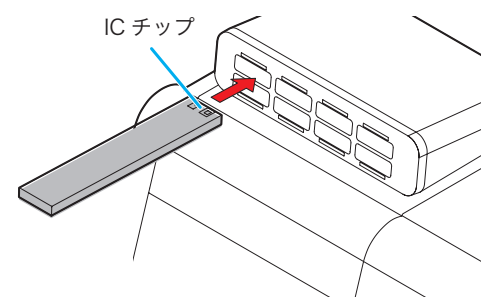
4 引き抜いたインクカートリッジをゆっくりと右または左に回転させ攪拌する

- ・カートリッジを時計回り、反時計回りに各方向、10回ずつ半回転させ、攪拌してください。
- ・必ずゆっくりと回転させてください。素早く回転させると、十分に攪拌されないことがあります。

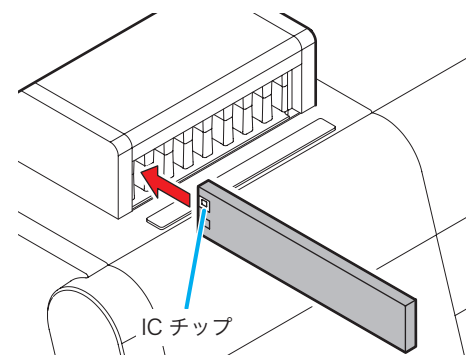


5 カートリッジを取り付ける

- ・Acuity LED 1600II の場合は、IC チップがある面を上側にして取り付けます。
- ・Acuity LED 1600R の場合は、IC チップがある面を左側にして取り付けます。



Acuity LED 1600II



Acuity LED 1600R

ワイパの清掃

ワイパは、ヘッドのノズル面に付着したインクを拭き取ります。本機を使用しているとインクやホコリ等でワイパが汚れてきます。ヘッドの状態を良好に保つために、ワイパは頻繁に清掃してください。





- ・清掃するときは、必ず付属の保護メガネおよび保護手袋を着用してください。インクが目に入る恐れがあります。

清掃に必要なもの	・ 清掃棒	・ 保護手袋	・ 保護メガネ
----------	-------	--------	---------

- 1** <ローカル>表示のとき、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
メディア セッテイ <ENT>

- 2**   キーを押して、[メンテナンス] を選ぶ

FUNCTION
メンテナンス <ENT>

- 3** **ENTER** キーを 2 回押す

ステーション メンテ
メンテ：キャリッジ アウト

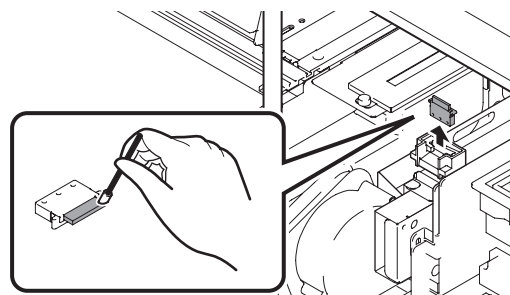
- 4** **ENTER** キーを押す

- ・ キャリッジが移動し、ワイパが手前に移動します。

ステーション メンテ
シバラク オマチクダサイ

- 5** 本体右側のメンテナンスカバーを開け、ワイパを清掃する

- ・ ワイパを取り外して、清掃棒で清掃します。
- ・ 洗浄が終わったら、ワイパを元に戻します。
- ・ ワイパの汚れがひどい場合には、ワイパを交換してください。半年に 1 度は、必ずワイパを交換してください。
- ・ 金属面を手前にしてワイパを取り付けます。



重要!

ワイパの清掃には、必ず専用の清掃棒を使用してください。

* 専用の清掃棒（フレキシブルスワブ）については、販売店または弊社営業所までお問い合わせください。

- 6** 清掃が終了したら、メンテナンスカバーを閉じ、**ENTER** キーを押す

ワイパ セイソウ
シュウリョウ : ent

・初期動作を実行します。

- 7** **END** キーを押して終了する

メディア押さえの清掃

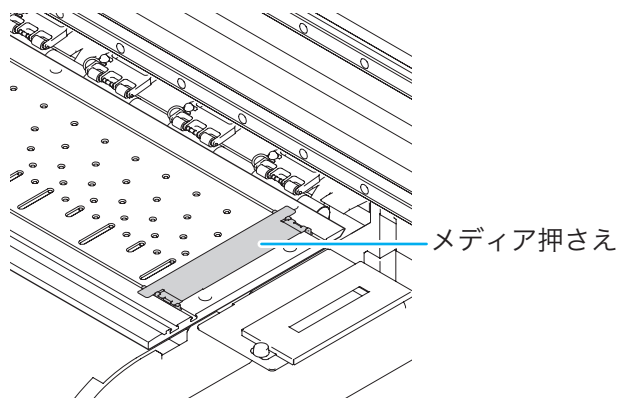
メディア押さえにカットくずやホコリ等がたまると、プリント時のメディアの搬送が正常に行えなくなったり、ホコリ等がノズルに付着して正常なプリントができなくなることがあります。

メディア押さえは、毎日清掃してください。

重要! ・メディア押さえにインクが付着していると、ノズル抜けやヘッド破損の原因になります。



・インクが付着している場合は、アルコールをペーパータオルに含ませ、インクを拭き取ります。



プラテンの清掃

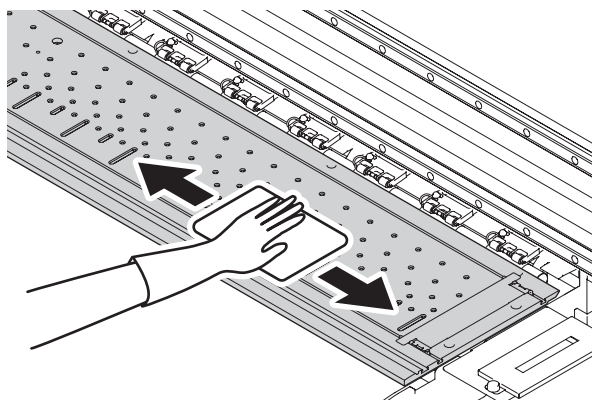
プラテンは、メディアをカットしたときの糸や紙粉等で汚れやすくなります。やわらかい毛のハケや乾いた布、ペーパータオルなどで汚れを拭き取ります。

重要!

- ・メディア押さえ用の溝や、用紙カット用の溝（カッターライン）などは特に汚れがたまりやすいため、入念に清掃してください。

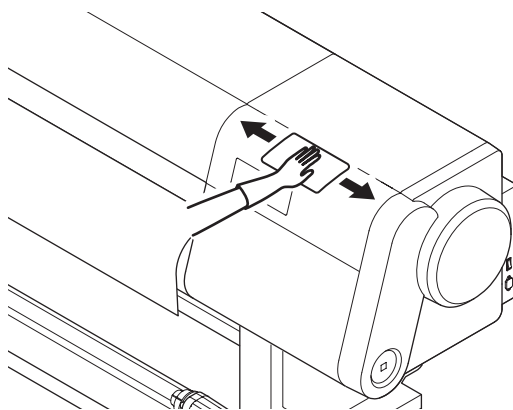


- ・インクが付着している場合は、アルコールをペーパータオルに含ませ、インクを拭き取ります。



外装の清掃

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水または水で薄めた中性洗剤を含ませ、固くしぼってから汚れを拭き取ってください。



毎週のお手入れ

ノズル面の清掃

インクを吐出するヘッドのノズル面に、わずかなホコリや紙粉、あるいはインクミストの固着物が付着すると、吐出に悪影響を及ぼしますので、定期的な清掃が必要になります。



・清掃するときは、必ず付属の保護メガネと保護手袋を着用してください。インクや洗浄液が目に入る恐れがあります。

清掃に必要なもの	・メラミン清掃棒	・保護手袋	・保護メガネ	・洗浄液
----------	----------	-------	--------	------

1

電源を入れる



・初期動作後、<ローカル>が表示されます。

2

<ローカル>表示のとき、**FUNCTION** キーを押す

FUNCTION
メディア セッテイ <ENT>

3

  キーを押して、[メンテナンス] を選ぶ

FUNCTION
メンテナンス <ENT>

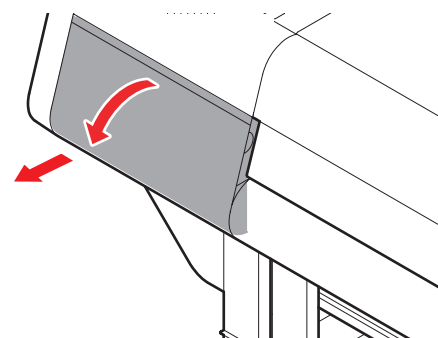
4

ENTER キーを3回押す
・キャリッジが移動します。

ステーション メンテ
メンテ：キャリッジ アウト

5

本体左側のメンテナンスカバーを外す

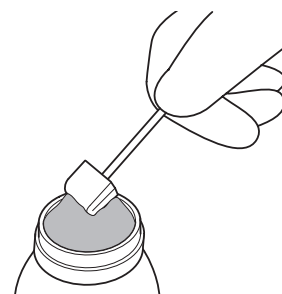


6 専用のメラミン清掃棒に洗浄液をしみ込ませる

重要!

- ・必ず洗浄液を浸けて清掃してください。絶対に乾拭きはしないでください。ノズル面を損傷する恐れがあります。
- ・必ず専用のメラミン清掃棒および洗浄液を使用してください。指定以外のものを使用すると、ノズルの損傷や詰まりによる吐出不良の原因になります*。

*専用のメラミン清掃棒および洗浄液については、販売店または弊社営業所までお問い合わせください。



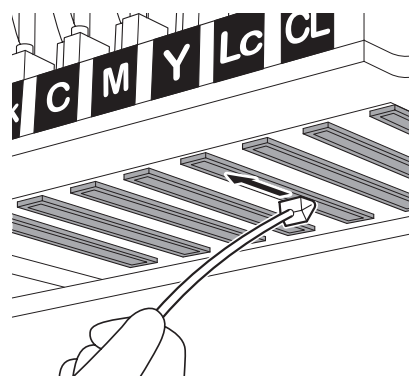
7 ノズル面にメラミン清掃棒を当て、奥側から手前側に向かって汚れを拭き取る

- ・メラミン清掃棒のスポンジ平面が、確実にノズルに当たるようにしてください。
- ・ノズルの奥から手前に向かってゆっくりと拭き取ってください。

重要!

ノズルの損傷、詰まりによる吐出不良を防ぐために、以下の点に注意してください。

- ・1回当たり1本のメラミン清掃棒を使用し、各色ごとにメラミン清掃棒を取り替えてください。また使用済みのメラミン清掃棒は再使用しないでください。
- ・拭き取り方向は、必ず奥側から手前側に行ない、往復拭き取りはしないでください。
- ・拭き取りは、ノズル面を軽く拭き取る程度にしてください。強い力では拭き取らないでください。



8 清掃が終了したら、メンテナンスカバーを閉じ、**ENTER** キーを押す

ステーション メンテ
シュウリョウ : ent

9 **END** キーを数回押して、<ローカル>表示に戻す

10 **CLEANING** キーを押して、全色のノズルのクリーニングを行う (タイプ: ノーマル、ワイピング: ON に設定)。

- ・ノズル面の洗浄液を取り除くために実施します。TEST DRAW (テスト作図) は不要です。

クリーニング
タイプ : ノーマル

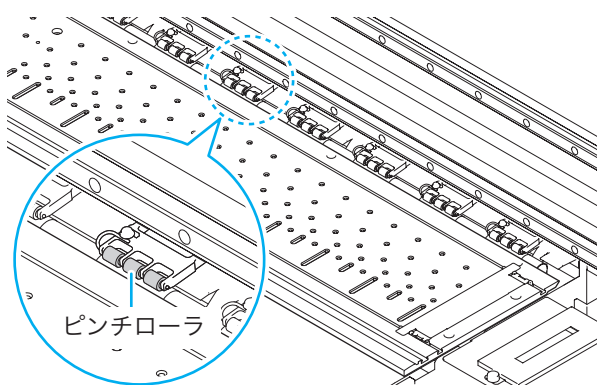
クリーニング
ワイピング : ON

ピンチローラの清掃

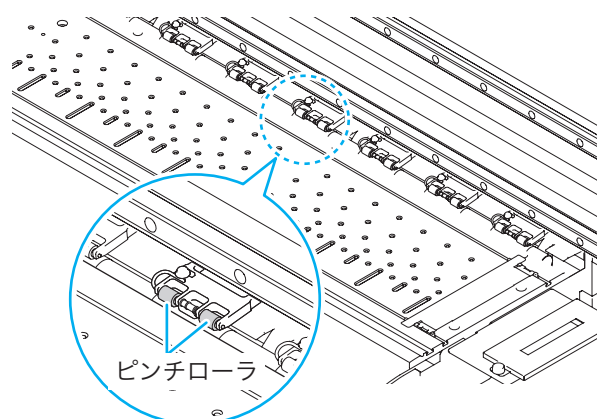
ピンチローラは、メディアをカットしたときの糸や紙粉等で汚れやすくなります。また、素手でさわると油脂が付着して画質が低下することがあります。

ピンチローラの汚れが目立つ場合は、乾いた布で汚れを拭き取ってください。また、インクが付着している場合には、メンテナンス用洗浄液をペーパータオルに含ませ、汚れを拭き取ります。

その後、不要なメディアまたは紙を用いて、メディアをセットした状態で長さ 5cm の範囲で紙送りを 10 回往復してください。



Acuity LED 1600II



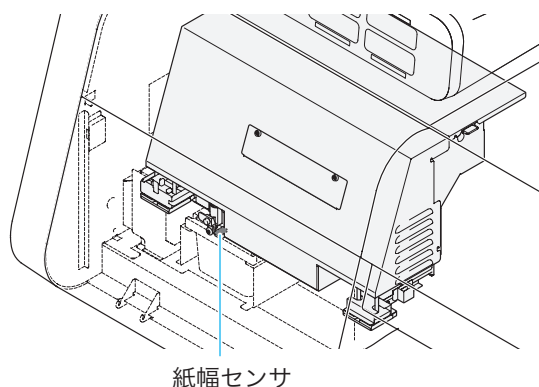
Acuity LED 1600R

紙幅センサの清掃

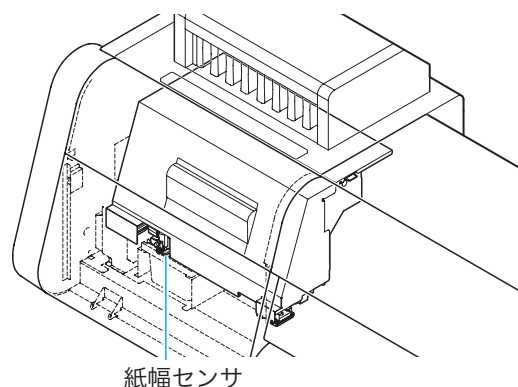
紙幅センサは、メディア端面を検出するセンサですが、インクが付着して感度が落ち、紙幅検出ができなくなることがあります。定期的にセンサ下面を乾いた布または、アルコールで湿らせた布で拭いてください。

重要!

・紙幅センサを清掃するときは、洗浄液を使用しないでください。紙幅センサが変形する原因になります。



Acuity LED 1600II



Acuity LED 1600R

廃インクの処理

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、廃インクタンクに溜まります。定期的に廃インクタンクをチェックして、インクが溜まっていたら処分してください。また、ディスプレイに「!ハイインクタンク チェック」のメッセージが表示されたら、廃インクタンクをチェックしてください。



- ・ 廃インクを処分するときは、必ず付属の保護メガネおよび保護手袋を着用してください。インクが目に入る恐れがあります。



- ・ ヘッドクリーニング中などでインク排出中の場合は、排出が終了してから作業を行ってください。
- ・ 廃インクタンクを取り扱うときは、廃インクがこぼれないようご注意ください。
- ・ 廃インクは、廃インクタンクの半分くらいまで溜まったら処分してください。



- ・ 予備の廃インクトレー / タンクをお求めの場合は、お近くの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。
- ・ 廃インクを移すポリエチレンタンクをご用意ください。
- ・ 廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。

作業に必要なもの

・ 保護手袋

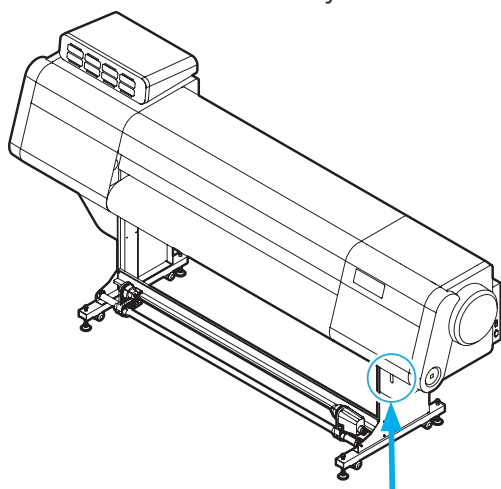
・ 保護メガネ

廃インク処分の目安

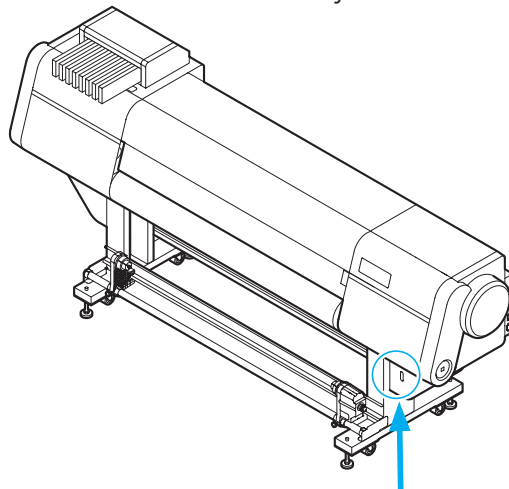
廃インクタンク確認窓で廃インクの量を確認することができます。

廃インクの量を確認して交換が必要なときには、次ページの作業手順に従って廃インクを処分してください。

Acuity LED 1600II



Acuity LED 1600R

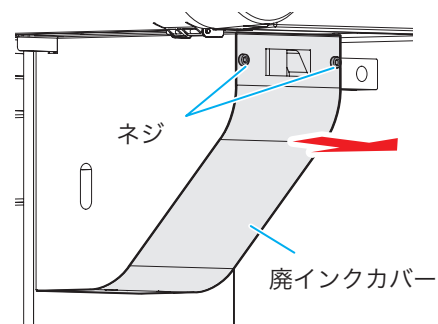


廃インクの量が増えると、廃インクタンク確認窓のオレンジ部分が増えてきます。

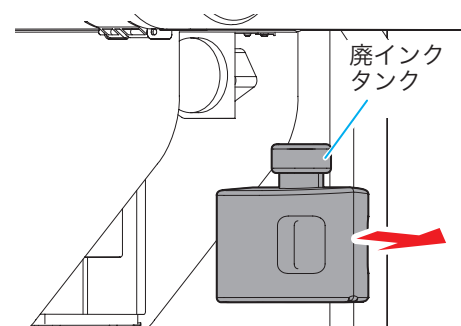
廃インクの回収

1 廃インクカバーを取り外す

- ・ 廃インクカバー上部のネジを外し、廃インクカバーを取り外します。

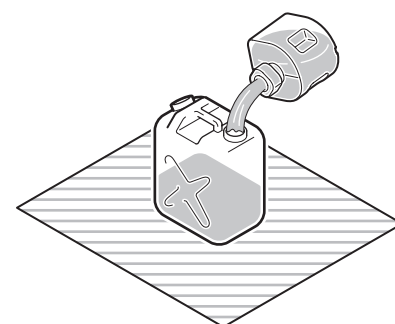


2 廃インクタンクを取り出す



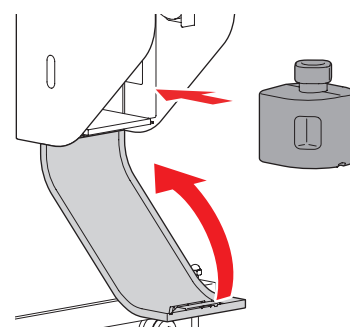
3 廃インクをポリエチレンタンクに移す

- ・ インクで床を汚さないため、下に紙を敷いてから廃インクを移してください。
- ・ 廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。



4 空にした廃インクタンクをセットし、廃インクカバーを取り付ける

- ・ 取り外したネジで廃インクカバーを固定します。



保管方法について

インクおよび洗浄液の保管

インクおよび洗浄液は、5°C～30°Cの温度範囲の冷暗所で保管してください。また子供の手の届かない場所に保管してください。

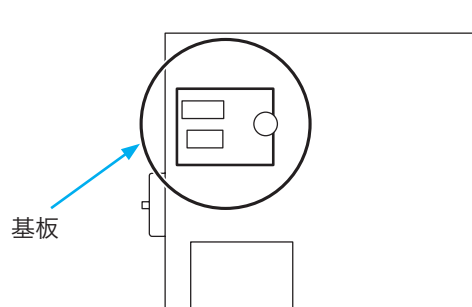
メディアの保管

メディアは、ほこりがつきにくく直射日光が当たらない場所に保管することをお勧めします。また湿度も嫌いますので高温多湿の場所での保管は避けてください。

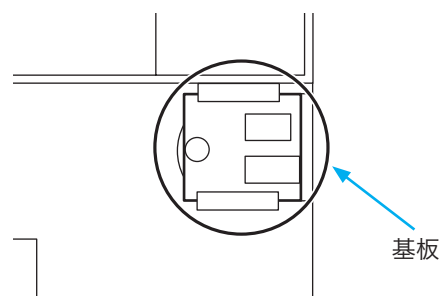
インクカートリッジの保管

直射日光があたりず、湿度の高くない場所に保管してください。精細な製品ですから、落下させたりぶついたりしないでください。

インクカートリッジに装着されている基板（下図参照）は、汚したり、静電気放電させたりしないでください。



Acuity LED 1600II



Acuity LED 1600R

FUJIFILM

富士フイルム株式会社

本社 〒107-0052 東京都港区赤坂9丁目7番3号

FUJIFILM

富士フイルム グローバル グラフィック システムズ株式会社

本社	〒106-0031	東京都港区西麻布 2-26-30 富士フイルム西麻布ビル	03(6419)0300
大阪支社	〒541-0056	大阪府中央区久太郎町四丁目1番3号 大阪センタービル	06(4704)8401
中部支社	〒460-8404	愛知県名古屋市中区栄一丁目12番17号 富士フイルム名古屋ビル	052(201)8171
北海道支店	〒060-0042	北海道札幌市中央区大通西6丁目1 富士フイルム札幌ビル	011(241)9325
東北支店	〒983-0869	宮城県仙台市宮城野区鉄砲町西1番地の14 富士フイルム仙台ビル	022(292)6511
北陸支店	〒920-0024	石川県金沢市西念1-1-3 コンフィデンス金沢	076(231)2511
四国支店	〒761-8071	香川県高松市伏石町 2005-17	087(869)8011
中国支店	〒730-0045	広島県広島市中区鶴見町 4-22 MKD1ビル	082(249)7155
九州支店	〒812-0018	福岡県福岡市博多区住吉 3-1-1 富士フイルム福岡ビル	092(261)7227
沖縄営業所	〒903-0017	沖縄県中頭郡西原町字翁長 834 番地	098(946)9797